

被爆74年 平和祈念式典・碑めぐり通じて「いのち」の尊さを学ぶ



～第26回ヒロシマ現地学習行動～

2019年8月5日～7日、第26回ヒロシマ現地学習行動を開催し、平和祈念式典や碑めぐり、被爆証言の会・山岡美知子氏から講演を受け学習してきました。

8月6日、「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」に参加しました。8時15分、全体で約5万人の参加者とともに1分間の黙祷を捧げました。松井市長の『平和宣言』では、昨年踏み込まなかった日本が参加していない核兵器禁止条約への署名・批准を日本政府に求めました。子ども代表の『平和の誓い』では、「『ありがとう。』や『ごめんね。』の言葉で認め合い許し合うこと、寄り添い、助け合うこと、相手を知り、違いを理解しようと努力すること。自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。」と平和への思いが発信されました。

また、今年4月にリニューアルオープンした「広島平和記念資料館」の見学、平和記念公園内の碑めぐりを行い、被爆の実相と核兵器・原爆の恐ろしさ、1つひとつの碑に込められた思いなど現地踏査を通じて学びました。

平和で安心して暮らせる社会をめざして行動しよう！

